

INFORMATION

No. 1503-11

受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記の項目につきまして、受託を中止させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承のほどお願い申し上げます。

敬具

記

■受託中止項目

コード	受託中止項目名	中止理由	代替項目[コード]
1260	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG	外部委託先による受託中止のため	ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》 [コード:4458]
1209	ペプシノゲン	汎用試薬に変更のため	ペプシノゲン《LA》 [コード:4457]
4421	ABC検診	汎用試薬に変更のため	ABC検診《LA》 [コード:4459]

尚、受託中止実施期日以降に受託中止項目をご依頼された場合は、代替項目に変更させていただきます。

※ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》とヘリコバクター・ピロリ抗体IgGの相関は、裏面をご参照下さい。

(裏面に続く)

■受託中止実施期日

平成 27年 3月 30日(月) 受付分まで

* お問い合わせは当社または担当者までお願いいたします。

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL 04-2964-2621 FAX 04-2964-6659

URL <http://www.e-musashi.co.jp>

◆ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》 新旧二法の相関

ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》試薬ではIgG抗体に加え、IgAおよびIgMクラスの抗体を含む総抗体価を測定するため、陽性率が向上しています。

判定一致率

		旧法		
		陽性	陰性	計
新法	陽性	112	34 ^{※2}	146
	陰性	4 ^{※1}	450	454
	計	116	484	600

陽性一致率： 96.6% (112/116)

陰性一致率： 93.0% (450/484)

判定一致率： 93.7% (562/600)

(外部委託先データ)

※1 旧法陽性、新法陰性の4例は両法共にカットオフ値付近でした。

※2 旧法陰性、新法陽性はIgA抗体を認識しているものと考えられます。

◆ペプシノゲン《LA》およびABC検診《LA》のチャート報告書

・ペプシノゲン《LA》チャート報告書

ペプシノゲン 検査報告書

施設名 武蔵臨床検査所 検査日 2014年09月28日 患者名 49才 性別 男 年齢 42歳 検体No 102

検査項目 測定結果 判定

検査項目	測定結果	判定	ペプシノゲン判定領域
ペプシノゲンI	ng/ml		50 100
ペプシノゲンII	ng/ml		25 50
ペプシノゲンI/II			5.0 10.0

ペプシノゲン検査の判定結果

(-) 健康な胃粘膜 (1+) 少し弱った胃粘膜 (2+) 弱った胃粘膜 (3+) かなり弱った胃粘膜

今回の検査では胃粘膜の萎縮(老化)の傾向は認められませんでした。今後1~3年に一度くらいはペプシノゲン検査をお受けになることをお勧めします。

胃粘膜の萎縮(老化)が認められます。萎縮の程度をみるために精密検査をお受けになることをお勧めします。精密検査の結果異常がなくても、その後1~3年に一度くらいは精密検査をお受けになることをお勧めします。

胃粘膜の萎縮(老化)が進んでいるようです。早めに精密検査をお受けになることをお勧めします。また、精密検査の結果異常がなくても、その後1~3年に一度くらいは精密検査をお受けになることをお勧めします。

胃粘膜の萎縮(老化)が大々進んでいるようです。早めに精密検査をお受けになることをお勧めします。また、精密検査の結果異常がなくても、その後1~3年に一度くらいは精密検査をお受けになることをお勧めします。

ペプシノゲン(PG)による胃粘膜萎縮度の判定基準

判定	測定値	1/PG
健康	PG I (ng/ml) 100以上	1.0
少し弱った	PG I (ng/ml) 50以上 100未満	2.0
弱った	PG I (ng/ml) 25以上 50未満	3.0
かなり弱った	PG I (ng/ml) 10以上 25未満	5.0

▲ 武蔵臨床検査所 報告責任者 清水

・ABC検診《LA》チャート報告書

A B C 検診報告書

施設名 武蔵臨床検査所 検査日 2014年09月28日 患者名 49才 性別 男 年齢 42歳 検体No 100

検査項目 測定結果 判定

検査項目	測定結果	判定	ABC分類	ペプシノゲン判定領域
ペプシノゲンI	73.1 ng/ml		A	100
ペプシノゲンII	7.9 ng/ml	(-)		50
ペプシノゲンI/II	9.3			10.0
Helicobacter pylori抗体	3未満 U/ml	(-)		

ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果

A B C 検診判定結果

A群 健康な胃粘膜 健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。

B群 少し弱った胃粘膜 少し弱った胃粘膜です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意しましょう。一度、内視鏡検査を受けましょう。

C群 弱った胃粘膜 弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になりやすいです。一度、内視鏡検査を受けましょう。定期的な内視鏡検査をお勧めします。

A B C分類とは・・・ A B C分類は「胃の健康度」に応じて検診回数を決定することができます。A群は5年に1回の検査、B群であれば精密検査を受診し、問題がなければ2~3年に1回の検査、C、D群ならば精密検査を受診し、問題がなければ1年に1回の検査を実施するという方法です。

ペプシノゲン検査とは・・・ 「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化(萎縮)の状態を客観的に調べられる検査です。

ヘリコバクター・ピロリ検査とは・・・ 胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査です。

▲ 武蔵臨床検査所 報告責任者 清水

※ヘリコバクター・ピロリ抗体《定量》、ペプシノゲン《LA》およびABC検診《LA》につきましてはインフォメーションNo.1410-19「新規受託のお知らせ」をご参照下さい。